

サイトメトリー認定試験を受験して

I. はじめに

私は臨床検査技師として、末梢血液検査、骨髄検査、フローサイトメトリー検査に従事しています。日々、血液疾患に関わる業務に携わっていると、フローサイトメトリー検査の臨床的重要性を実感します。ただし、フローサイトメトリー検査は、適切な検体処理、抗体試薬の選択、解析（ゲーティングや cut line の設定など）をしなければ誤った結果報告に繋がるため、正しい知識と理解が必要となります。今回、自身の知識を再確認し、フローサイトメトリーに対してさらなる理解を深めるため認定試験を受験しました。

II. 試験対策

試験対策は「スタンダード フローサイトメトリー第2版」を中心に勉強し、学会HPに掲載されている“筆記試験用到達目標”を達成できるようにしました。書籍としては「フローサイトメトリーQ&A 正しいデータを出すための100箇条（羊土社）」、「新版 フローサイトメトリー もっと幅広く使いこなせる！（羊土社）」も使用しました。また、フローサイトメトリー関連の論文、チャレンジ認定試験、各種メーカーHPで掲載されている解説なども参考にしました。認定試験の合格は第一の目標でしたが、その先を見据えて多くの文献に触れることを意識しました。試験問題は「スタンダード フローサイトメトリー第2版」の内容が中心でしたが、それ以外の問題も出題されていたので、試験対策

のためには様々な文献を読んでおくことが大切だと思います。

III. 試験当日

試験当日は9時～16時までの技術講習会を受講した後に、16時半から認定試験が開始されます。技術講習会では数名の先生方が講師をしてくださり、自身が学んできた知識の再確認、不足している部分の補填を行ないました。また、参考書に載っていない内容も教えて頂き、大変有意義な時間を過ごすことができました。技術講習会が終わった後に認定試験が開始されるので疲労は蓄積していましたが、勉強の成果を十分に発揮できたと思います。

IV. おわりに

認定試験を通してフローサイトメトリーに対する理解が深まるとともに、まだまだ学ぶべきことが沢山あると痛感しました。これからも臨床に貢献していくために精進を続けていきたいと思っています。この体験記が今後受講される方々の参考になれば幸いです。